

全戸訪問型（大東市）

●小学1年生のいる全ての家庭を対象に、年3回の訪問を実施（平成30年度）

実施内容

【全戸訪問と個別の支援】

- 小学1年生全児童の家庭を年3回訪問【3学期は1・2学期に会えなかった家庭を訪問】（訪問対象件数：約900件）
相談・訪問チーム員157名により実施
- 訪問支援と親の学習機会、交流機会の提供の取組みを家庭教育支援チーム内で組織的に連動させて実施
 - ・家庭訪問等による「いくカフェ」への勧誘
- 家庭教育の重要性の認識が低い家庭への支援
 - ・いくカフェへの呼び込み
 - ・チームリーダー（SSW）による支援



訪問支援と接続した 家庭教育支援の取組み

- いくカフェ
 - ・保護者に対する主体的な「学び」「育ち」に関する親学習機会や子育ての“しゃべり場”を提供（全12小学校区年3回実施）
- 子育てガイドブックの配布

支援員への支援

- 基幹チーム会議を年4回実施
- 月1回のPT会議の実施
- 相談・訪問チーム員養成講座（5回講座）の主催実施
- 大阪府教育庁主催の研修等へ派遣

成果

- 1 小学1年生全家庭の訪問について、実施を重ねる中で、訪問する回数や時間等の工夫により、保護者に会えた件数が増加し、保護者と支援員や地域とのつながりができた
 - (1) 学校外での児童の様子により気になる児童を発見することができ、家庭の支援につながった
 - (2) 保護者の話を丁寧に聞き取ることができ、保護者の悩みや不安の軽減が図れた
 - (3) 課題を抱える家庭の状況に関する情報の量、質ともに高まった
- 2 「いくカフェ」の実施により、子育てしつけについての不安や悩みなど親が抱える精神的不安が軽減した

実施体制

- 小学校区を単位としたSSWを中心とする相談・訪問チームを編成

大東市家庭教育支援チームの体制図

